

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	左心房機能・構造と CHA2DS2-VASc score によって推定される脳卒中リスクの関係を評価する後方視的研究		
1. 研究の目的と方法	心房細動は脳卒中のリスクを高めることが知られています。現在、脳卒中のリスクはCHA2DS2-VASc score という複数の危険因子から構成されたスコアに準じて予測されることが一般的です。左心房の拡大や収縮低下が脳卒中の増加と関連しているとする報告がありますが、その見解は一定していません。これまで経胸壁心エコーを用いた左心房の機能・構造と脳卒中リスクの関係を評価した報告はありますが、経胸壁心エコーは視認性の限界から評価の正確性を欠いている可能性があります。心臓 CT は三次元画像により、経胸壁心エコーと比較して左心房機能・構造を正確に測定できます。今回の研究では、心臓 CT の画像を用いて左心房の機能・構造と脳卒中リスクの関係を評価します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年4月1日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	心房細動の患者さんのうち、附属病院で2021年1月1日～2024年3月31日の間にアブレーション治療術前に心臓 CT 検査、心臓超音波検査および採血検査を受けた、20歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	性別、診療録（高血圧、糖尿病、心不全、脳梗塞、慢性腎疾患の有無、身長、体重）、検査結果（採血結果、CT 画像検査）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 放射線医学講座
		氏名	大内 厚太郎
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>	<p>この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2024年9月頃～</p>
<p>【問い合わせ先】</p>	<p>機関名：【例】東京慈恵会医科大学 放射線医学講座 研究責任者：助教 大内 厚太郎（おおうち こうたろう） 電話番号：03-3433-1111（内線 3361） 対応時間：平日 09：00 ～ 16：00</p> <p>※研究者の氏名にはフリガナをご記載ください。 ※研究責任者が窓口担当者を兼ねる場合は、窓口担当者の記載は不要です。 ※電話番号には、代表番号と内線番号の両方を記載してください。 ※電話番号の内線番号は医局等の番号を記載ください。 ※各附属病院でも実施する場合は、各附属病院の窓口担当者と電話番号も列記してください。</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。